

平成21年度予算案について

(H21.02.06市長記者会見)

私にとりましては、2期目の後半への折り返しの予算となりますが、

予算の基本的な考えは、本格的な地方分権の時代に向け、これまでの行財政構造改革を着実に推進し、自主・自立の行政運営と安定した財政基盤の構築を図りながら、本市が有する「特性・優位性・可能性」を踏まえた個性あるまちづくりを目標とし、「市民力とまちの特性を生かし、幸せを実感できるまち」の実現に向けて、マニフェストとしてお約束した76項目の公約の実施、新長期総合計画の着実な推進、「安心」と「活力」の2つを柱とした「重点施策」などに重点配分し、メリハリある予算として編成いたしました。



平成21年度予算につきましては、財政健全化対策の確実な達成を目指すことを基本にしつつ、現下の厳しい景気・雇用情勢を踏まえ、一定の事業量を確保するとともに、地域における経済活性化策など独自の景気対策を盛り込んだところであります。

また、新年度に予定した事業のうち、ゼロ国債、ゼロ市債による公共事業の前倒しや地域活性化・生活対策臨時交付金を活用した事業の前倒しなどを予定し、切れ目のない予算執行を図ってまいります。

なお、国の2次補正に盛り込まれた「緊急雇用創出事業」などについても、事業実施に向け、新年度において補正予算等で対応する予定となっております。

これらの景気・雇用対策に加え、再編交付金を活用した地域振興策の実施、観光振興などの地域経済活性化事業の実施、新たな長期総合計画の策定に合わせた各分野の個別計画の策定に関連する予算や、千歳命名205年・開庁130年、支笏洞爺国立公園指定60周年、アンカレジ市との姉妹都市提携40周年、長春市友好親善都市提携5周年などの節目の年であることから、これらの関連予算に

ついても計上し、千歳の都市力、市民力を引き出す「千歳の“ちから”創造予算」として取りまとめたところであります。

一方、現在の少子高齢化・人口減少社会や、環境問題、医療制度改革などの対応をはじめ、当市におきましては、陸上自衛隊の削減問題や、救急医療体制の確保など喫緊の課題が山積しており、これらに係る政策課題にも応えていく予算としております。

また、公約につきましては、新たに取り組む3事業を含む51項目の事業を盛り込み、予算を直接伴わないものが13項目、合わせて64項目に取り組むこととしております。

重点施策につきましても、新たに3事業に取り組むこととし、重点施策の予算総額では18億2千万円を計上したところであります。

この結果、一般会計総額では、431億8,015万9千円となり、前年度予算と比べ、36億9,042万6千円、7.9パーセントの減となっております。

また、特別会計では7会計の総額で120億4,140万2千円となり、前年度予算と比べ5億4,619万5千円、4.3パーセントの減となりました。

一般会計を含めた8会計の総額では、552億2,156万1千円となり、前年度予算と比べ42億3,662万1千円、7.1パーセントの減となり、これに公営企業会計を加え、総体で694億9,076万2千円の規模として取りまとめたところであります。

この予算案につきましては、3月2日に開会予定の第1回定例市議会に提案してまいります。